



試験番号 VE-23-0250追1

受付日 2023年 8月31日

報告日 2024年 4月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)報告書

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
一般財団法人日本建築総合試験所
試験研究センター
センター長
報告書発行責任者
材料試験室長

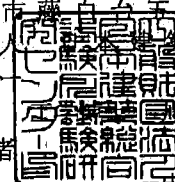


Table with columns for 依頼者 (Client), 試験実施期間 (Test Period), 種類 (Type), 産地 (Origin), 採取場所 (Collection Location), 採取日 (Collection Date), 採取者 (Collector), 工事名 (Project Name), 備考 (Remarks). Includes a ruler image and code VE-23-0260.

セメントの全アルカリ 酸化カリウム(K2O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na2O): 0.27%、全アルカリ(Na2Oeq): 0.52%
試験方法 「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部コンクリート実験室にて行った。

Table showing expansion rate (%) for specimens 1, 2, 3, and average expansion rate at 2, 4, 8, 13, and 26 weeks. Judgment: 無害 (Harmless).

平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。

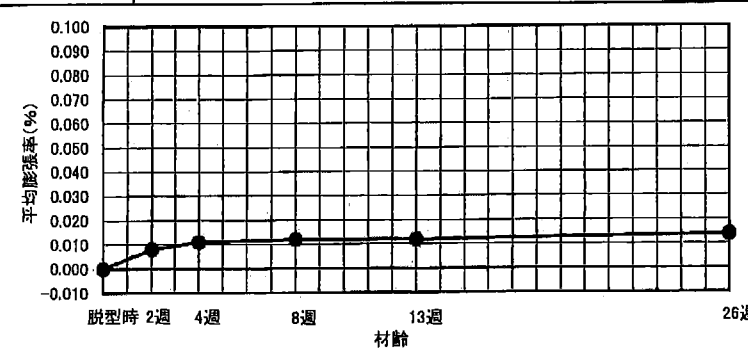


図-1 平均膨張率と材齢の関係

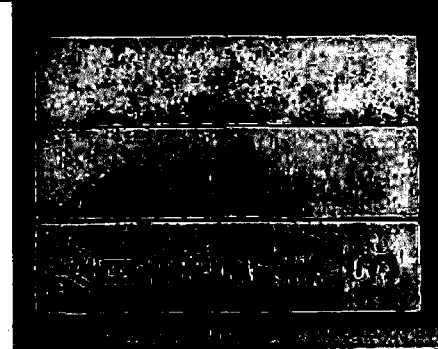


写真-1 供試体の状況(試験終了時)

担当 材料部 材料試験室 試験責任者 澁井 雄斗、試験担当者 丹羽 大地

*:試験依頼者の情報による。

